

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	59
基本施策	16	交通体系の整備	評価責任者	建設水道課長 佐竹 邦夫
単位施策	1	道路環境の向上		

1 施策の概要

基本方針	生活環境の改善や産業の振興に結びつく路線の維持・確保を図ります。また、除雪や路面凍結対策、堆雪対策、吹雪対策など、冬の安全対策を強化するとともに、歩道や交通安全施設の設置、沿道景観づくりなど、人と環境にやさしい道づくりを進めます。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	道路網については、国道238号沢木地区の整備要望や道道美深雄武線の整備及び町道、農道、林道の整備が進められているが、特に平成21年度の交付金事業により町道の整備が一層進んでいる。	道路網については、国道238号沢木地区の整備要望や道道美深雄武線の整備及び町道、農道、林道の整備が進められているが、特に平成23年度の過疎対策事業債で既存町道の改修整備により路線の維持・確保が図られている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	国・道と連携しながら、計画的な整備を更に進めるとともに、除雪や凍結路面などの冬道対策を一層充実していく必要がある。	国・道と連携しながら、計画的な整備を更に進めるとともに、除雪や凍上路面などの冬道対策を一層充実していく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	町道延長						
	定義等	認定された町道の長さ						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	261.5km（H18）	268.7km	269.3km	269.4km	269.4km		262.7km
指標2	指標名	町道改良率						
	定義等	認定された町道の長さの中で砂利等で改良された割合						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	79.6%（H18）	80.05%	80.43%	80.55%	80.59%		79.70%
指標3	指標名	町道舗装率						
	定義等	認定された町道の長さの中で舗装改良された割合						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	57.1%（H18）	57.95%	59.19%	59.75%	59.84%		56.90%
指標4	指標名	除雪の満足度						
	定義等	アンケート調査						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	38%（H18）	未調査	未調査	未調査	39.40%		50%
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	梅小路道路整備事業（線越）	土木管理係	0			
②	除雪事業	土木管理係	58,743	A	継続／現状維持	A
③	道路台帳補正更新事業	土木管理係	1,071	A	継続／現状維持	A
④	町内小工事事業	土木管理係	4,968	A	継続／現状維持	A
⑤	町道排水管路清掃事業	土木管理係	4,589	A	継続／現状維持	A
⑥	町道等維持業務委託事業	土木管理係	4,065	A	継続／現状維持	A
⑦	町道防雪柵設置事業	土木管理係	1,731	A	継続／現状維持	A
⑧	ロードヒーティング改修事業	土木管理係	18,354	A	継続／現状維持	A
⑨	町道等除草作業他環境保全事業	土木管理係	5,565	A	継続／現状維持	A
⑩	町道路面清掃事業	土木管理係	1,743	A	継続／現状維持	A
⑪	宮の森3号線法面補修事業	土木管理係	4,620	A	終了	A
⑫	元沢木線舗装事業	土木管理係	7,245	A	終了	A
⑬	元沢木中央線道路改良事業	土木管理係	15,498	A	終了	A
⑭	都市対策附帯事業	土木管理係	4,736	A	終了	A
⑮	緑町1号線道路整備事業	土木管理係	22,974	A	終了	A
⑯	雄武墓地線道路整備事業	土木管理係	22,260	A	終了	A
⑰	沢木市街地線道路改修事業	土木管理係	10,710	A	終了	A
⑱	元沢木海岸線道路改修事業	土木管理係	12,548	A	終了	A
⑲	町道橋修繕事業	土木管理係	5,093	A	継続／現状維持	A
⑳	町道歩道整備事業	土木管理係	15,603	A	継続／現状維持	A
㉑	日の出幹線道路整備事業	土木管理係	33,758	A	継続／現状維持	A

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	快適な車輛走行の確保と冬の安全対策を強化し道路環境の向上を目指すことは、行政の使命である。
② 有効性	A	目標以上に道路の改良や舗装率がアップし、既存道路の整備、改修ができたことは、道路環境の向上が図られ成果が得られている。
③ 効率性	A	再生アスファルトや再生コンクリートなど安価な資材を使用したことなどで経費が削減できたことは、財政負担の縮減が図られている。
④ 公平性	A	不特定多数の道路利用者に対し、快適な道路環境が確保されたことは、公平であると判断する。
⑤ 町民意見の反映	A	町民からの要望や自治会要望などから意見を聴取し反映している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
終了した事業も含め計画通り施策を進めることは、道路環境の向上を図り、通行の利便性を確保するための措置を講じている。	同左	

今後の方向性

継続／現状維持	継続／現状維持	
町道の改良舗装整備や除雪等の冬の安全対策を強化することは、道路環境の向上を図るためにも必要な施策であることから、今後もこの施策の継続、現状維持が必要である。	同左	

\*今後の方向性の区分

○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止